

様式第9号（第10条関係）

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
-----	-----------------------

令和3年度 寄附金活用実績報告書

事業の区分 (該当へ☑してください)	<input type="checkbox"/> 団体支援型 <input checked="" type="checkbox"/> テーマ指定型 <input type="checkbox"/> 自由提案型
実施期間	2021年 2月 1日 ～ 2022年 1月 31日
寄附活用実績額等	寄附目標額： 620,000,000円（ふるさと納税のみ） 寄附実績額： 614,331,272円 個人版：610,231,272円 (R3.2-3月 15,009,892円、R3.4-R4.1月 595,221,380円) 企業版： 4,100,000円 事業費： 1,428,043,779円 自己負担額： 856,428,779円
事業内容	保護した野犬のトレーニングを強化するとともに、コロナ下でも譲渡会への参加や新しい里親募集サイトの開設などを通じて譲渡に力を入れ、里親希望者とのマッチングを進めた。広島県や他の保護団体などと協力して殺処分機の稼働ストップを維持しつつ、動物愛護法改正に伴う数値規制の導入に対応し、飼育スタッフの増員と犬舎増設の準備に取り組んだ。災害救助犬、低血糖アラート犬など使役犬の育成を継続し、殺処分をなくすための啓発活動や保護犬に対する関心の喚起にも取り組んだ。事業資金の調達については、ふるさと納税に加え、引き続きインターネット広告も活用して継続会員の増加に努めた。
実施事業の成果・効果	500頭以上の犬を譲渡し、全体の収容頭数を2年続けて減少させることができた。前年度に続いて新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、犬の移動や里親希望者とのマッチングに関する譲渡センター間の情報共有が進み、譲渡プロセスがより合理化・効率化した。 飼育スタッフが増え、老犬や介護が必要な犬に対してもより手厚いケアができるようになった。また、元野犬のトレーニングに力を入れたことで、スタッフの技量が向上し、人馴れトレーニングのノウハウを蓄積することができた。 会員が45,000人を超え、事業の運営基盤が安定した。

様式第10号 (第10条関係)

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
-----	-----------------------

令和3年度 収支決算書

事業の区分	<input type="checkbox"/> 団体支援型 <input checked="" type="checkbox"/> テーマ指定型 <input type="checkbox"/> 自由提案型		
事業名	ピースワンコ・ジャパン プロジェクト		
項目	金額 (円)	内容・内訳計算 (単価×数量)	
収入	交付金交付申請額	571,615,000	ふるさと納税による神石高原町への寄付金 個人版：567,515,000円 (寄付金額の93%) (R3.2-3月 13,960,000円、 R3.4-R4.1月 553,555,000円) 企業版：4,100,000円
	寄付金(会費を含む)	829,181,092	会費、指定寄付金
	その他事業収入	27,247,687	業務委託料、原稿講演料、商品売上高等
	前年度繰越金	0	
	収入計	1,428,043,779	
支出	スタッフ人件費	330,919,795	給料、賃金、法定福利費、福利厚生費、採用関係費等
	直接事業費	153,570,263	犬養育費・医療費、救助犬等育成事業費
	犬舎・事務所維持費	182,155,060	水道光熱費、事務所維持費、修繕費、地代家賃
	物品購入費	15,337,168	事務用品・備品・消耗品購入費
	商品仕入高	2,643,221	
	旅費交通費	12,962,739	国内外旅費、車両維持費、車両レンタル費
	ふるさと納税返礼品 関連支出	19,696,725	返礼品の購入費
	保険料	7,177,862	
	外注費	61,071,465	コンサルティング・広報・管理業務等委託費、報酬
	その他事務管理費用	360,487,804	リース料、医療衛生費、通信・運搬費、広報啓発費、 コピー印刷代、会議費、会場費、租税公課、手数料等
	犬舎建設などに係る 固定資産購入支出	14,335,069	犬舎建設費、車両購入費等
	一般管理費	267,686,608	指定寄付金等の25% (2021年2-3月は15%)を上限 とした一般管理費
	次年度繰越金	0	
	支出計	1,428,043,779	

※支出科目は、人件費、報償費、使用料・賃借料等に分けて記載して下さい。